

動物によって農作物の被害を防除する方法が変わってきます。
効果的な対策をとるためにも、正しく見分ける必要があります。

アライグマ

食肉目
アライグマ科

海外よりペットとして持ち込まれ
野生化しました。

顔は目の周りが黒く、白い眉がある
よう見えます。尾の黒色と茶褐色
のしま模様は特徴的で、似た動物と
見分けるポイントになります。

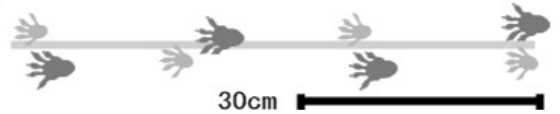
指が長く器用に物をつかむ事がで
きます。足あとにもその特徴が現れ、
人の手形のようにも見えます。木登
りも得意です。



足あと



尾は黒色と茶褐色のしま模様



30cm

タヌキ

食肉目
イヌ科

郊外の雑木林から山地の森林まで幅広く
生息しています。

目の周りは黒く、アライグマに間違われ
やすいですが、全体的に茶色味が強いこと
と、尾にしま模様がないことで区別できま
す。



ハクビシン

食肉目
ジャコウネコ科

元々日本には生息していなかったと
考えられています。

鼻筋に太く入った白い模様はとても
目立ちます。また、細長い尾が特徴的
です。木登りが得意です。



前足

後足



アナグマ

食肉目
イタチ科

丘陵地から山地の林に生息しています。
4本の足は太短く、爪は鋭く長いのが
特徴です。穴を掘って生活しています。

